

新図書館システムのイメージ図



FRONTIER

教育・研究の最前線

図書館システムが新しくなりました！早慶共同運用をスタート！

メディアセンター所長（経済学部教授） 須田伸一すだしんいち

との連携の可能性も開けるでしょう。

メディアセンター（図書館）の蔵書検索システム、「KOSMOS」を使ったことがありますか？ 塾内6キャンパスのメディアセンターで所蔵している図書や雑誌の所在をくまなく検索することができ、さらに大学が契約している電子ジャーナルや電子ブックへのアクセスも提供する便利なシステムです。

そのKOSMOSをはじめとした図書館のサービス全般を構成する図書館システムが、9月に大きくリニューアルしました。早稲田大学図書館との共同運用によるクラウド型のシステムとなったことが大きな特徴で、既に海外では数々の有名大学図書館がコンソーシアム形式

契約データベースへアクセスしたり、「資料の探し方」の案内を参照したりすることもできます。またこの機会に資料の貸出規則を簡素化し、分かりやすい図書館サービスの展開にも力を入れました。

（複数の図書館が共同で利用する）で導入していますが、国内での複数大学による共同運用は初の試みです。早慶が連携体制を組むことで、大学図書館間での知的・人的交流、システム運用の安定化やコスト削減などを実現し、将来的に早慶双方の利用者サービスの拡大・発展につなげていくことを目指しています。またゆくゆくは同じシステムを導入している世界中の機関

新システム運用初期には、調整しなければならぬ不具合が出てくることもあります。資料の所在が分からなかったり、情報にうまくアクセスできなかったりする場合には、各キャンパスメディアセンターのレファレンス・サービスやWebサイト上のオンラインレファレンス「質問のすゝめ」を活用して、遠慮なく質問をお寄せください。

※学生、教職員など慶應義塾在籍者のみ